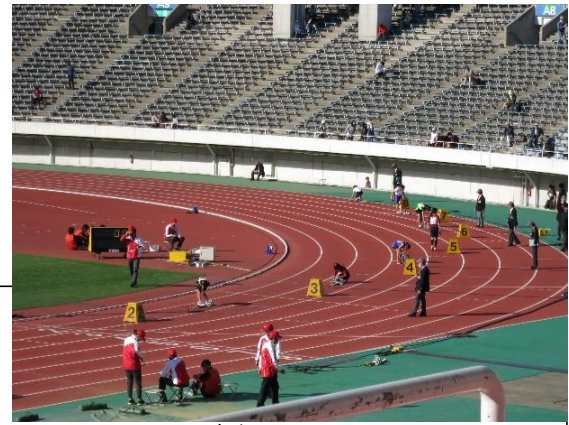


第 51 回 織田幹雄記念国際陸上競技大会

第 16 回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン)代表選手選考競技会

海田東小学校 女子 リレーチームが1位！



世界選手権（8月・ロンドン）の代表選考を兼ねた第51回
織田幹雄記念国際陸上競技大会は29日広島市安佐南区のエディ

オンスタジアム広島で、グランプリや新設されたパラリンピック種目など男女37種目がありました。

日本人初の9秒台を目指す桐生祥秀（東洋大）が10秒04の好タイムで4年ぶりの頂点に立ちました。また、日本人初の金メダリストを獲得した織田幹雄さんの種目である男子三段跳びでは、山本凌雅（順大）が16m91（追い風参考）が優勝し、世界選手権の参加標準記録を突破しました。

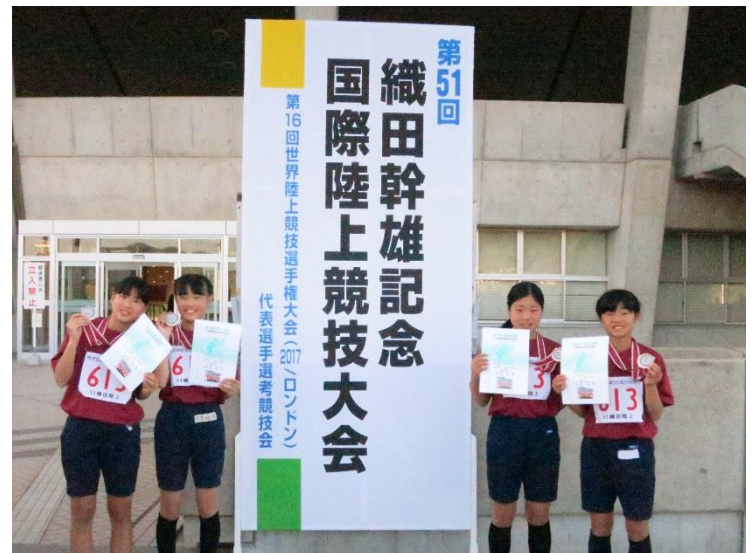
小学400メートルリレーは、50秒台を目指す海田東小学校女子チームが1分0秒16の好タイムで広島県内の頂点に立ちました。世界を目指すトップアスリートと同じ舞台上、これまでの練習の成果を発揮し、織田幹雄さんのゆかりの陸上競技大会で堂々たる走りを見せてくれました。



表彰式の様子



桐生祥秀選手（1位）の表彰式の様子



メダルを手に喜びの選手たち

第1走者

山崎 晴美さん

どう速く走れるか考えながら放課後に練習をして、タイムを縮めるために工夫しました。考える力がつき成長したと思います。

第2走者

貫目 七菜さん

織田幹雄記念国際陸上競技大会に出場して、四人でバトンをつなぐ練習をしました。仲間と協力する力がつきました。

第3走者

里平 弥生さん

バトン渡しを速く正確に練習を重ね努力しました。たくさんの方がいて、緊張したけれど、4人が力を合わせて出し切ることができました。

第4走者

出来 瑞さん

私は、みんなとの絆がもっと深まったと思います。少しバトンミスがあったけど、みんなと助け合ったり、励ましあったりするところが成長できました。

海田町に息づく「世界人『織田幹雄』」を紹介しよう

エディオンスタジアム内のコンコースでは、海田町出身で日本人初の金メダリスト織田幹雄さん（1905～98年）の偉業を知ってもらう展示コーナーが設置されました。

織田幹雄さんの金メダルや自分や他の選手の記録などを書いたノート、世界記録を達成した際のスパイクなどのレプリカなどが展示されていました。リオデジャネイロオリンピック陸上男子400メートルリレーで日本男子チームが銀メダルを獲得したレースで使われたバトンが展示する中、海田東小学校の平成28年度の5年生（現在の6年生）が学習した織田幹雄さんを紹介するリーフレットも展示され、多くの人々に見学をしてもらいました。また、織田幹雄記念国際陸上競技大会に出場する小学校の74チームにも作成したリーフレットが配布されました。

国語科で織田幹雄さんの学習が始まった1年目は、織田幹雄さんの生き方考え方を伝える展示パネルを作成し、ふるさと館で企画展示が行われました。昨年度は、先輩たちの学習の成果と課題を基に、より多くの人々に織田幹雄さんを紹介したいと願い、リーフレットを作成しました。そして、織田幹雄記念国際陸上競技大会や海田町内の公共施設などで配布していただくことができました。今年度の5年生は、どのような国語科の学習になるのか、今からとても楽しみです。



リーフレットを手にする人



作成したリーフレットを読む人たち



作成したリーフレット



中国新聞 平成29年4月30日より

中 織田さんの偉業知って
大会会場 金メダルの複製を展示
（中国新聞）
「中国新聞」が、28年のアムステルダム五輪で獲得した男子400メートルリレーの金メダル、自分や他の選手の記録などを書いたノート、世界記録を達成した際のスパイクのレプリカなどを展示。観衆の関心は、スタジアムの大規模修繕で織田さんの生誕地を訪れる機会が増えた。展示コーナーには、小学生や中学生が学習したリーフレットも展示されている。観衆は、織田さんの偉業を知ることができたと喜んでいた。観衆は、織田さんの偉業を知ることができたと喜んでいた。観衆は、織田さんの偉業を知ることができたと喜んでいた。